

## 新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	日本ブレインバンクネット（JBBN）の構築とその運用
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2001年1月1日以降現在までに、新潟大学脳研究所病理学分野で病理診断された患者さんから年間25名程度です。
③概要	<p>病理解剖時に凍結保存している脳神経系組織等を集めて系統的に保管し、疾患の病態や治療法、予防法の開発につながる研究に活用するために日本ブレインバンクネット（JBBN）を構築、運用します。</p> <p>対象となるご遺族様におかれましては、本研究にぜひともご協力いただきたくお願い申し上げます。なお、承諾されないという場合は、下記「①お問い合わせ先」までご連絡ください。承諾されないというご判断は尊重され、ご遺族様が不利益を被ることはございません。</p>
④申請番号	2022-0022
⑤研究の目的・意義	<p>精神・神経疾患の原因を究明し治療法を開発するためには、ヒト死後脳研究が重要な役割を果たします。欧米では研究資源としてのブレインバンクが数多く設立され、活用されることにより、さまざまな研究が行われています。1990年代終わり頃になると日本でもブレインバンクが設立され始めましたが、単一研究医療機関によるブレインバンクが多く、小規模で公開リソースとしての整備も遅れていました。本研究では、ブレインバンクネットワーク（日本ブレインバンクネット：JBBN）を構築し、全国のブレインバンクに蓄積する死後脳リソースを統合化して、共通プロトコルの下にリソースの管理・運用を行う体制を確立することを目的とします。</p> <p>本研究により、日本の脳リソース研究を強化して医学医療の発展に繋がることが期待されます。</p>
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2025年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	日本ブレインバンクを介して、医学的な病態解明や治療方法の開発を目的とした研究に利用されます。対象疾患は1つ1つの研究で異なり、それぞれの研究機関で適切な倫理審査を経て行われる研究です。
⑧利用または提供する情報の項目	病理解剖にて採取され、保存されている凍結組織（脳）、患者さんの情報（年齢、性別、臨床診断名、罹病期間）
⑨利用する者の範囲	新潟大学 脳研究所 病理学分野 共同研究機関： 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

	<p>—臨床検査部 部長 高尾 昌樹</p>
<p>⑩試料・情報の管理について 責任を有する者</p>	<p>新潟大学 脳研究所 病理学分野 柿田明美 共同研究機関：国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター —臨床検査部 部長 高尾 昌樹</p>
<p>⑪お問い合わせ先</p>	<p>所属：新潟大学 脳研究所 病理学分野 氏名：柿田明美 Tel：025-227-0633 FAX: 025-227-0817 E-mail：kakita@bri.niigata-u.ac.jp</p>